

牛窓神社だより

備前 岡山

第44号

令和六年(皇紀 2684 年)元旦
発行

〒701-4302
岡山県瀬戸内市牛窓町牛窓2147

牛窓神社社務所
TEL 0869(34) 5197

謹賀新年



宮司
岡崎 義弘

牛窓神社の氏子崇敬者を始め、深き御神縁に強く固く結ばれた全ての皆様、謹しみて初春の御慶びを申し上げます。

皆様方には、年々歳々牛窓神社を中心に、町内各神社の維持運営並びに祭典の厳修につきましては、物心両面の温かな御理解と御協力を賜り、衷心より厚く御礼を申し上げます。

一、今こそ全人類が結束して環境保全に真剣に取り組ましましょう。

さて、昨年令和五年の夏の暑さは尋常ならざる筆舌に尽くし難き猛暑に見舞われた事、記憶に新しい処であります。地球温暖化が叫ばれ始めて長い年月が経ちましたが、私達人間は、何一つ有効な対策が今だ打ち出せていません。このまま経済最優先で、便利で快適な生活を追い続けるとすれば、益々空前絶後の異常気象が常態化し、自然から受けるしっぺ返し(自然災害)も深刻の度合いを増して行く事でしょう。今こそ一瞬一秒でも早く、全人類が一致結束して地球温暖化に立ち向かい、未来の子孫の為に気候変動・異常気象・水不足・食糧危機・海面上昇・パンデミック等々に懸命に対処して行かなければ最早手遅れ、万事休すになるかも知れません。

ところが、この様な地球環境悪化待った無しの状況の中で、我々人類はいったい何をやっている

のでしょうか。

心ある学者の人達の警告の声は、なぜか新聞の一面には取り上げられず、テレビのトップニュースにもならず、経済発展を希求する論調が今だ主流であります。異常気象対策、地球温暖化対策は、形骸化のそしりを免れません。

しかも、現在この地球上には、戦争が紛争が、相互不信が噛み合いが、軍拡競争が、核兵器の製造と保有がーとさまざまな地域で何ともなげない現状であります。今この文章執筆の時も人間同志がお互いの憎悪し、戦争と云う最終手段で殺戮し合うーこの様な現状を天上界の神々は如何思われる事でしょうか。

今すぐこの愚かな戦争にストップをかけ(現実には一筋縄では解決できない歴史的背景が有るとしても)人間本来の優しい心、慈しみの心を取り戻し、一刻も早くこの地球上に恒久的平和を構築し、手遅れにならない今の内に、全人類が手に手を携えて、英知を結集して地球の環境悪化にストップをかけるべきと心得ます。

もちろん、今日食べて生きる為のパンを得る事は何より大切です。しかし未来の子孫に大きなツケを残す事も厭に戒めるべきです。

幸いにして、我々日本人には、鎮守の森を大切に、自然を尊び、自然を敬い、自然と調和して生きると云う神道の心が宿っています。

世界の先駆けとして、あくなき便利で快適な生活の追求を求めた姿勢を改めて、今こそ世界人類の良き手本として質素儉約、質実剛健な自然に即した暮らしを再発見し、ほんの少しだけでも不自由で、不健全な生活を未来の子孫の為を思って、敢えて見直すべきではないかと思われまします。

一、まずは身近な小さな事から始めまします。

「何事も言うは易く、行は難し」です。

私達日本人が、身近な小さな事から始めて、世界中に地球環境保全の大きな輪を広げて行きたいものです。神道の心を何より大切にしている日本人なら必ずや全世界の良いお手本になれるはずで、世界中の心ある人達が、日本のリーダーシップに秘かに期待しています。

新しい年の初めに当たり、今年一年のふる里牛窓の限り無き平和と発展を祈り、氏子・崇敬者の皆様の御健勝と御多幸を心から切に願いつつ、年頭所感の御挨拶とさせていただきます。

令和六年 厄年・祝い年一覽

【厄年】

主として男性

数え四十二才 前厄 昭和五十九年生まれ
本厄 昭和五十八年生まれ
後厄 昭和五十七年生まれ
数え二十五才 本厄 平成十二年生まれ

主として女性

数え三十三才 前厄 平成五年生まれ
本厄 平成四年生まれ
後厄 平成三年生まれ
数え三十七才 本厄 昭和六十二年生まれ
本厄 平成十八年生まれ

男女共に

・数え四十九才 昭和五十一年生まれ
・数え五十五才 昭和四十五年生まれ
・八方塞がり 四緑木星の人(平成十八年、平成九年、昭和六十二年、昭和五十四年、昭和四十五年、昭和三十六年、昭和二十七年、昭和十八年、昭和九年 等)
・辰歳生まれの年男・年女

【祝年】

数え六十一才 還暦 昭和三十九年生まれ
数え七十才 古稀 昭和三十年生まれ
数え七十七才 喜寿 昭和二十三年生まれ
数え八十才 傘寿 昭和二十年生まれ
数え八十八才 米寿 昭和十二年生まれ
数え九十才 卒寿 昭和十年生まれ

要予約にて、御神縁ある全ての皆様の厄祓いを受け付けております。御初穂料等、ご準備いただくものにつきましてはお問い合わせ下さい。

電話(〇八六九) 三四一五一九七



伊勢神宮参拝記念

コロナ禍を乗り越えて実に四年ぶりのお伊勢様への御参り

厄年は迷信などではなく、長年つちかわれた先祖先輩からの生活の知恵、「心」の予防接種です。なるべく早目に厄祓いを受けられることをお勧め致します。